



富士見台

児童数配布

<https://www.nerima-tky.ed.jp/fujimidai-e/>



学校教育目標 かしく やさしく たくましく

変化への対応～じっくり確実に～

副校長 白井清孝

時が経つのは、本当に早いものです。令和4年度も残り2か月となりました。行く1月、逃げる2月、去る3月、特に2月は日数も少なく、【逃げる】ように過ぎていくことでしょう。

さて、富士見台小学校では、行事を中心として、多くの出来事がありました。

春の運動会、教室に入る人数を制限した学校公開、校舎の外壁工事、学芸会…。本当にたくさんのことがありました。新型コロナウイルスの対応も3年目を迎え、慣れてきたところもありましたが、その都度その都度検討を重ね、教育活動を進めてまいりました。

自らすすんで兄弟学年活動に取り組む、資料を見て話し合ったことから自分の考えを発表する、クラスだけでなく、学年、学校の仲間を大切に助け合う…。現在の子供たちの姿から、今年度の教育活動を「じっくり確実に」進めてきた結果と私は感じております。

この2月も新型コロナウイルスの流行が心配されており、コロナウイルスは刻一刻と姿を変えています。それに対抗するワクチン、新薬も次々と開発され、急激な変化にもしっかりと対応することができ、安心した生活を送ることができるようになっています。

「変化の激しい現代社会」と言われて久しく経ちますが、インターネットの発達に伴う、情報量の増加には目を見張るものがあります。また、受け取った情報が刻一刻と変化することにも不安や戸惑いを感じてしまうこともあります。

変化に対応していくことは大切、でも自分がした対応が果たして適切であったかどうか、不安に思う方も少なくないのではないのでしょうか。

変化に対応の仕方は人それぞれですが、富士見台小学校では、基本方針を決め、その方針をもとにその時々の変化に対応しています。富士見台小学校で言う方針は、各教育活動において作成した計画になります。令和4年度も感染状況を鑑みながら、検討を重ね、子供の実態に合うよう既存の計画を少しずつ変化させてきました。富士見台小学校の子供たちの様子を見て、その成果を実感しております。

「じっくり」と検討を重ねる、「確実に」教育効果を積み重ねていく。【逃げる】ように猛スピードで変わっていくすべての出来事に対して、2月も今後も「じっくり確実に」教育活動を進めてまいります。

日	曜	朝会	2・3月の行事
1	水		
2	木		
3	金	安	社会科見学 (3)
4	土		
5	日		
6	月		クラブ活動⑩ クラブ見学 (3)
7	火	全	巡回心理士巡回日
8	水		
9	木	児	
10	金		地区班編成 (2校時)
11	土		建国記念の日
12	日		
13	月	にこ	クラブ⑪ にこにこタイム (3・5)
14	火	全	
15	水		午前授業
16	木	にこ	にこにこタイム (2・4)
17	金	にこ	避難訓練 煙体験 (4) にこにこタイム (1・6)
18	土		
19	日		
20	月		
21	火	全	
22	水		
23	木		天皇誕生日
24	金	教員 説明	
25	土		
26	日		
27	月		委員会 (3月分)
28	火	全	保護者会 (高) 食育 (高学年保護者向け)
3/1	水		
2	木		6年生を送る会
3	金	安	保護者会 (中)
4	土		
5	日		
6	月		クラブ⑫
7	火	全	保護者会 (低) 避難訓練
8	水		
9	木		
10	金		

挨拶運動(4)

「百人一首大会」の取り組み

富士見台小学校では、特色ある教育の一つとして、百人一首の指導を行っています。百人一首に取り組むことを通して日本の伝統文化に親しませ、すべての学力の基礎となる言語感覚を育てることや、6年間で百首すべてを覚える中で根気強く課題に取り組む態度を養うことなどを目標にしています。

五首覚えるごとに10級、9級とグレードが上がっていき、百首すべて覚えると、全校朝会で「百人一首名人証」を校長先生から受け取ることができます。子供たちは「名人」を目指して、百人一首覚え表を使って、自分のペースで暗唱テストを受けています。

子どもたちの1年間の取り組みの集大成となるのが、百人一首大会です。今年度は1月26日、27日に行われました。並べられている札を見ながら次の句が詠まれるまで真剣な表情で待つ姿、札が取れなくて悔しそうにする姿など、子供たちの様々な姿が見られました。今後も百人一首に親しんで、暗唱に取り組んでほしいと思います。

文化的行事委員会

「兄弟学年活動」の様子をお知らせします

今年度は、豊かな人間関係の構築、「顔の見える交流」を目指して「兄弟学年」の活動をしてきました。コロナ禍の中、安全性を考えながら交流を行ってきました。各兄弟学年から交流の様子をお伝えいたします。

【1年生と6年生】

6年生は、1年生との交流をととても楽しみにしています。自分たちが1年生だったときの6年生のように、1年生に接しています。班ごとに、活動の内容を考えるとときには、「1年生も分かるだろうか。」「1年生も楽しめるだろうか。」と考えて、内容を工夫しています。遊びのときには、1年生にととても優しく、一緒に楽しく遊んでいます。1年生も安心して、兄弟学年活動の時間を仲良く過ごしています。

【2年生と4年生】

4年生は、自分たちが上級生として活動する、初めての年です。「2年生が楽しめるように。」を合言葉に、「だるまさんが転んだ」や「長縄跳び」などの遊びや、遊び方の説明を考えました。当日は2年生も4年生もたくさんの笑顔が見られ、充実した時間が過ごせたようです。2年生からは「4年生が優しくしてくれて嬉しかった。」、4年生からは「分かりやすく教えることが難しかったけれど、2年生が楽しんでくれてよかった。」などの感想が聞かれました。

【3年生と5年生】

3年生と楽しい交流ができるよう、5年生がはりきって遊びを計画し準備を進めました。当日は「絵しりとり」や「ばくだんゲーム」などの遊びを楽しんでいました。校庭や体育館では、「ドッジボール」や「鬼ごっこ」をしている班もあり、3年生と5年生の交流がより深まったように感じました。3年生からは「5年生と遊べて楽しかった。」「次に5年生に会えるのが楽しみだな。」などの感想が聞かれ、次にまた会える機会を楽しみにしていました。

今年度の研究について

研究主題「学びのつながりに気付き、生かそうとする児童の育成 ～教科等横断的な視点に立ったカリキュラムの作成～」

本校では4年間に渡り教科等横断的な学習に関する研究に取り組み、今年度はその集大成の1年でした。児童の実態に合わせて各学年で育てたい学力を明確に設定した上で、「知る」(国語)→「使う」(各教科・領域)段階を経て、学校生活のあらゆる場面で「活用する」ことのできる児童の育成を目指してきました。来年度以降も、これまでの研究の成果を活かして、児童の思考力が広がり、深まる学習指導を展開していきます。

研究推進委員会